一般社団法人　富士青年会議所
６５周年中期ビジョン

新たな一歩が拓く道
未来に種を蒔こう!!

65th
Anniversary

JCI Junior Chamber International Fuji
一般社団法人 富士青年会議所

１９５８年8月２６日

「明るい豊かな社会を創りたい」

その想いをもった２４名のチャーターメンバーで構成された

社団法人　富士青年会議所は

全国で１４８番目の青年会議所として産声をあげました。

創立から６５年の歳月が流れ、昭和から平成、

そして令和へと年号が変わるとともに、

世界情勢や日本の政治経済も様々な変遷がありました。

しかしながら、青年会議所には時代の変遷においても揺るぐことのない

３信条「修練・奉仕・友情」があります。

その３信条のもと、活動・運動をすることにより、

「明るい豊かな社会を創る」。

この共通認識が脈々と受け継がれて今年度を迎えます。

６５年という節目の年は、5年先、１０年先へと

未来に向けて歩みだす通過点に過ぎません。

なぜ青年会議所でなければいけないのか。

青年会議所として、このまちに、社会に対してなにができるか。

地域から必要とされ続け、影響を与える組織であるための指針として

中期ビジョンを策定いたしました。

一般社団法人　富士青年会議所

６５周年中期ビジョン

３信条・ＳＤＧｓで育む
富士市の未来に花開く
希望の種を蒔こう

富士青年会議所と３信条

修練
training

地域社会に貢献する
人財になるべく、
個々の達成能力の
向上を目指して
努力します。

奉仕
service

修練によって培われた
力を用いて
地域社会に
貢献します。

友情
friendship

ともに修練し、
地域貢献に対して
より大きい力を
生み出すために
一致団結します。

我々富士青年会議所は、諸先輩方から受け継いだ行動指針として
「３信条」を大切に活動・運動を展開しております。
５年前の６０周年では、３信条の方針を定義し
富士市のために邁進して参りました。
このまちの発展を願い、どのような困難に直面しても、
「明るい豊かな社会の実現」を願い、
修練・奉仕・友情の３信条をもとに
今後も運動を展開して参ります。

富士青年会議所とＳＤＧｓ

２０１９年度、公益社団法人日本青年会議所第１５９回総会において、

全会一致でＳＤＧｓ推進宣言が採択され、日本の青年会議所は

ＳＤＧｓ達成に向けた運動を推進することを宣言しました。

富士青年会議所も、創立から現在に至るまでに

富士市や社会における諸問題を自分ごととして向き合い、

課題を解決するために取り組んできました。

２０２１年度には、富士市とＳＤＧｓ達成に向け相互が協力し、

連携することを目的とした「ＳＤＧｓ推進に関するタイアップ宣言」

をさせて頂きました。

今後もＳＤＧｓの理念や視点を積極的に

取り入れてＳＤＧｓの達成に向け取り組んでいきます。

富士市の課題

現在、富士市はさまざまな問題を抱えています。

若い世代の人口減少。

新型コロナウイルス感染拡大による経済の影響。

市民が安心して暮らせる環境の確保。

これらの課題に対して、我々のできることは何か。

２０歳から４０歳までの若い世代である我々は、

仲間たちと多くの時間を共有し、若い世代だからこそ

発揮できる発想力、行動力をもって活動します。

また、諸先輩方から継承した３信条、そしてＳＤＧｓの理念をもって、

創立このかためざしてきた「明るい豊かな社会」の実現に向けて

邁進していきます。

次世代への継承

経済成長

安心できる環境

× 富士青年会議所

TRAINING
修練

緻密な事業計画による有事への備え

安心できる環境

南海トラフ地震の発生や津波の襲来、近年においては集中豪雨などの大規模災害の発生が予測される中、迅速な行動力、迅速な支援体制が必要とされます。そのためには、平時において緻密な計画を日常的におこない、有事に即断即決する判断力を養う必要があります。会員相互の切磋琢磨によって日常的に緻密な事業計画を練り、有事に必要とされるような人財を目指します。

異業種交流を活かした経済活性化

経済成長

市内企業の９９．７％を占める中小企業の多くが売上減少の課題に直面し、また人口減少や少子高齢化が進行する中、労働不足の解消や競争力の強化等多様な課題が顕在化しています。次世代の富士市の経済を担う我々は、同世代の経済人とともに異業種交流の強みを活かし、様々な角度から経済停滞を打破する方策を学び、ひとりひとりが持続可能な企業を目指すことで富士市の経済的な発展に寄与します。

市民目線からの諸問題への対応

安心できる環境

現在、富士市では市街地形成、交通・道路の整備、住宅の確保など快適な暮らしを続けるための改善が課題となっております。よりよい暮らしのため、我々富士青年会議所は市民目線で諸問題に対して理解を深め、問題解決のための方策を模索していきます。

SERVICE

奉仕

次世代を担う地域の宝を育む青少年育成

次世代への継承

子どもは次世代を担う地域の宝です。しかしながら家族形態の変化や家庭環境の複雑化を背景に様々な事情で配慮が必要な子どもが増加しています。富士青年会議所ではそのような「次世代を担う地域の宝」を育成するために、長年わんぱく相撲をはじめとする青少年育成事業を展開して参りました。諸先輩方の、地域の宝を育む理念を継承しつつ、急速に進む国際化・情報化を見据えて時代のニーズに則した青少年育成の促進をこれからも展開して参ります。

地域福祉に差し伸べる「いまできること」

安心できる環境

新型コロナウイルス感染拡大の影響によって、医療従事者に大きな負担がありました。一人の市民として市政や医療機関のみに頼るのではなく、常に「我々にはなにができるか」という視点を持ち、市民だからこそできる支援を模索し、実行していきます。医療のみならず、障がい者支援、高齢者支援に対しても自分ごとに捉え情報にアンテナを張り、地域福祉に対し積極的に支援していきます。

環境への意識を高める事業の実施

安心できる環境

環境問題への対応が世界共通の課題となっている中、個人のライフスタイルを地球にやさしいものに変革することが解決の第一歩となることから、市民ひとりひとりが環境に対する意識を高め、日々の生活から具体的な行動に繋げていくことが求められています。富士青年会議所の事業を通して環境問題に対して学び、行動することができる機会を市民のみなさまに提供し、環境活動の推進を図ります。

富士市の魅力を発信し、若い世代へ伝える

次世代への継承

富士市は日本一高い富士山と日本一深い駿河湾の両方を有し、大都市圏から人を呼び込みやすい地理にある、という強みがあります。その強みを最大限に活かすため、発信力を高め誘客の推進を図る必要があります。富士青年会議所も富士市の魅力を充分に理解したうえで、市外からの誘客の推進、首都圏に転出した若い世代が生まれ育った地元に帰ってくるきっかけづくりとなるべく、富士市の魅力発信を促進する事業を展開していきます。

FRIENDSHIP

友情

有事に大きな力となる結束力

安心できる環境

災害やコロナ禍のような脅威には、信頼関係を結んだ同志の協力が不可欠となります。「トレーニング」によって切磋琢磨し、志を同じにして「サービス」をともに遂行し、信頼関係を結んだ「フレンドシップ」をもって大きな力を醸成し、災害や富士市の諸問題に向き合っていきます。今年度は社会福祉法人 富士市社会福祉協議会と災害時における協力体制に関する協定を結び、より迅速かつ効果的な支援が可能な体制を構築することができました。

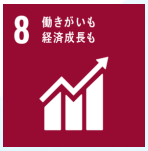
若者にとって魅力的なコミュニティの構築

次世代への継承

若者の県外流出に歯止めがかからず、少子化が進行していることから、富士市の中で若者の希望を叶えることができる環境づくりが求められています。近年の若い世代は、魅力的なコミュニティを求めています。富士青年会議所は２０歳から４０歳の若い世代で構成されており、「トレーニング」「サービス」を経て育まれる唯一無二の「フレンドシップ」を強みとしている団体です。会員拡大を積極的におこない、団体としての必要性を広く周知し、同年代にとってより魅力的なコミュニティとなりうる団体であることを目指します。

信頼関係が育むイノベーション

経済成長



経済の低迷を打破するために、地域経済をけん引する産業の創出や育成を図る必要があります。そのためには異業種間のコミュニケーションによるマッチングの機会が課題解決の一端を担います。富士青年会議所で育まれた信頼関係をもって新たなイノベーションを起こし、富士青年会議所のフレンドシップが富士市の経済発展に寄与します。

新型コロナウイルス感染拡大の脅威は、
我々に様々なことを教訓として教えてくれました。
人と人とのコミュニケーションが難しくなった中で、
あらためて「人と人とのつながり」の大切さを
再認識するきっかけになったのではないでしょうか。
非接触を余儀なくされた状況で、より人と人とのつながりが
身近に感じられるよう、様々な工夫がいたるところで
模索され、実現しました。
未知のウイルスの発生により大変な状況とはなりましたが、
一方ではまさに「大きく変わる」
きっかけでもあったのではないでしょうか。
今後も、新型コロナウイルスのような感染症や自然災害、
経済的危機、未知なる危機が訪れるかもしれません。
しかしながら、我々富士青年会議所はいかなる時も
英知と勇気と情熱をもって歩みをとめることはありません。
我々は「この危機的状況をどのように乗り越えたのか」
という軌跡を伝承し、今後、何かしらの危機的状況に
陥ったとしても、修練・奉仕・友情の３信条を胸に
果敢に立ち向かっていく気概を次世代に伝えること、
そして社会により良い変化をもたらすための発展と成長の機会を提供し、
富士市の発展、ひいては、社会の貢献に寄与して参ります。

JCI Junior Chamber International Fuji
一般社団法人 富士青年会議所